

ボール遊びができる 遊び場の拡充を

「遊び場を増やして」の願いに こたえます

区の区民世論調査では、「整備・充実すべき施設」のトップは2年連続で「公園・児童遊園・広場」です。遊び場や公園の充実を求める声が高まるばかりです。

こうしたなかで、昨年、多くの子どもたちが利用していた「くだんしたこどもひろば」が解体されました。



解体された「くだんしたこどもひろば」の跡地

共産党が遊び場条例を2回提案

共産党区議団は遊び場のニーズに応えるために、区議会で2回の条例提案をおこないました。

1回目 19年度第3回定例会「千代田区子どもの遊び場に関する基本条例」に遊び場の整備目標を位置付けるを提案。

2回目 22年度第1回定例会 次の3つを提案しました。

① 条例前文に“遊び場の提供は子どもの成長を見守る大人の役割”という文言を追加

区民も含め区全体で遊び場の拡充を真剣にとりくむ姿勢を鮮明にしました。

② “国や都に管理する土地の活用など協力を求めること”の項目を追加

③ “子どもの育成を図るため遊びに関する定期的な調査の実施”の項目を追加

ユニセフは「子どもにやさしいまちの構成要素」のひとつに様々な施策について“子どもへの影響評価を制度化している”ことをあげています。

しかし、条例案いずれも自・公・都ファなどの反対多数で否決されました。

遊び場の拡充へ積極的な提案をおこなってきました

牛尾区議は本腰を入れた遊び場対策を進めるため、これまでも繰り返し提案してきました。今後もみなさんの願いにこたえて、今後も積極的な提案をおこなっていきます。



ふじみこどもひろば

牛尾こうじろうが遊び場対策でおこなってきた提案

- 低未利用の区有地の活用
- 児童遊園の機能をすみ分ける
- ふじみこどもひろばの平日開放
- 神田地域に恒常的な遊び場の設置
- 児童館の日曜開放の拡充
- ミニバスケットボールの練習できる場所の整備

日本共産党

千代田区議会議員 2期



LINE公式



Twitter

牛尾こうじろう

